

社会科教育コース授業の一例

大学院の授業は、共通科目・専門科目・実習科目に分かれています。

○主な授業の内容

・社会科の専門科目	
授業名	授業の内容
社会認識教育(地理歴史)の内容構成演習 A・B	地理や歴史の内容構成の特色を概観した上で、その背景にある学問的な知見や研究方法論を総合的に検討していきます。地理学や歴史学の基礎的な考え方をすることで、地理や歴史の教科内容を分析する視点の習得を目指します。
社会認識教育(地理歴史)の教材開発演習 A・B	地理や歴史に関わる教材(図表、地図、絵図、風刺画、写真など)の開発や使用法について、演習内でディスカッションしながら考えます。また、模擬授業において具体的に活用し、それらをディスカッションにより再検討します。
社会認識教育(地理歴史)の学習指導と授業デザイン A・B	社会科教育における授業理論の類型(理解型、説明型、問題解決型、意思決定型)を理解し、小学校・中学校の社会科及び高等学校の地理歴史科の授業において、どのように理論が活用され実践が行われているかを考察するとともに、実際に受講生自身が主題を立て、地理あるいは歴史の授業を構想していきます。受講生の主体的・協働的な学びを取り入れた演習形式の展開となります。
社会認識教育(公民)の内容構成演習 A・B	学校教育に関わる法学や経済学、社会学から見た課題点等について、社会系の公民系科目で扱う内容の特徴について演習を通して考えます。今年度は、A(後期後半の火3)は、「社会学」、B(後期前半の月2, 火2)は、「経済学」、「社会学」が中心となります。
社会認識教育(公民)の教材開発演習 A・B	学校教育に関わる経済学、社会学から見た課題点等について、社会系の公民系科目で扱う教材の特徴について演習を通して考えます。今年度は、A(後期後半の火2)は、「法学」、B(後期後半の木2)は、「経済学」が中心となります。
社会認識教育(公民)の学習指導と授業デザイン A・B	学校教育に関わる主として法学から見た課題点等について検討します。また、社会系の公民系科目における多様な授業形態に着目し、単元構成のマネジメントについての演習を通して考えます。
教育実践研究(地理歴史、公民) I・II	ゼミナール形式により、各自の研究課題に応じた既存研究の整理や、課題解決に向けて実践の検討を行います。また、教科教育課題設定フィールドワークでの現場実践に向けた準備や、実践結果の考察も行います。